

第37期（2021年12月期）第2四半期 決算補足説明資料

2021年8月4日

サイバネットシステム株式会社

（証券コード：4312）

CYBERNET

目 次

◆ 2021年12月期 第2四半期 決算の概況	
[連結] 業績の概況	4
[連結] 営業利益の増減要因（前期比）	5
[連結] 貸借対照表	6
[連結] キャッシュ・フロー計算書	7
[連結] 四半期売上高の推移	8
[連結] セグメント別損益の概況	9
[連結] 売上高の各構成推移	10
[連結] 形態別売上高	11
[連結] 地域別売上高	13
コロナ禍での第2四半期の主な取り組み	19
新型コロナウイルス感染症に関する当社の主な取り組み	20
◆ 2021年12月期 業績予想	
[連結] 2021年12月期 業績予想	22
[連結] 2021年12月期 配当予想	23
◆ 中期経営計画の取り組み	
◆ 参考資料	

2021年12月期 第2四半期
決算の概況

CYBERNET

[連結] 業績の概況

売上高は、前期比+5.4%の12,507百万円。

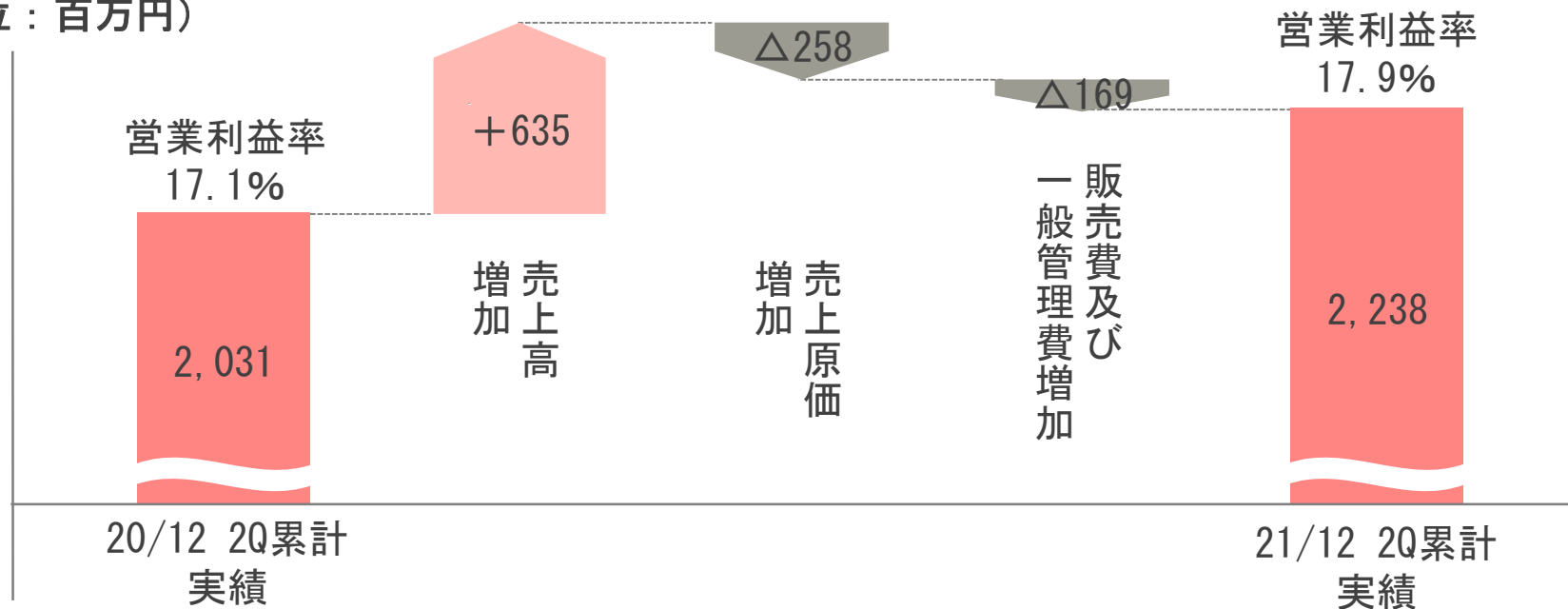
利益面では、営業利益は2,238百万円（前期比10.2%増）、経常利益は2,227百万円（前期比10.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,426百万円（前期比6.2%増）。

					(単位：百万円)	
	20/12 2Q累計 実績	21/12 2Q累計 実績	前同差	前同比	21/12E 通期 予想	進捗率
売上高	11,871	12,507	+635	+5.4%	22,056	56.7%
営業利益	2,031	2,238	+207	+10.2%	2,472	90.6%
営業利益率	17.1%	17.9%	+0.8pt		11.2%	
経常利益	2,011	2,227	+216	+10.7%	2,462	90.5%
経常利益率	16.9%	17.8%	+0.9pt		11.2%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,343	1,426	+82	+6.2%	1,536	92.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	11.3%	11.4%	+0.1pt		7.0%	

注) 上記の予想は、2021年6月25日発表の修正後予想数値。

[連結] 営業利益の増減要因（前期比）

（単位：百万円）



前期比主な増減要因

項目	増減要因
売上高	アジアの売上高が好調に推移したこと等により増加
売上原価	売上高増加による商品原価の増加等により減少
販売費及び一般管理費	人件費の増加等により減少

[連結] 貸借対照表

(単位：百万円)

	20/12	21/12 20	前期末差
流動資産	20,205	21,462	+1,257
現金及び預金	4,418	6,074	+1,655
受取手形及び売掛金	4,440	5,623	+1,183 ①
有価証券	6,000	5,500	△500
短期貸付金	4,469	3,319	△1,149 ②
その他	876	944	+67
固定資産	2,037	2,086	+48
有形固定資産	387	388	+0
無形固定資産	718	824	+105
投資その他の資産	931	874	△57
資産合計	22,242	23,548	+1,306
流動負債	6,488	6,629	+140
買掛金	1,482	2,036	+553
未払法人税等	406	625	+218
前受金	2,006	2,157	+150
賞与引当金	651	335	△315
その他	1,940	1,474	△466
固定負債	1,273	1,252	△21
退職給付に係る負債	1,240	1,215	△24
その他	33	36	+2
負債合計	7,762	7,881	+118
純資産合計	14,480	15,667	+1,187 ③
負債純資産合計	22,242	23,548	+1,306

前期末比主な増減要因

- ①受取手形及び売掛金
(前期末差+1,183百万円)
- 第2四半期売上高増加に伴う売上債権の増加：+1,183百万円
- ②短期貸付金 (前期末差△1,149百万円)
- 短期資金運用のための親会社へのCMS (キャッシュ・マネジメント・システム) 残高の減少：△1,149百万円
- ③純資産合計 (前期末差+1,187百万円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：+1,426百万円
 - 剰余金の配当：△455百万円

[連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計 実績	21/12 2Q累計 実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,039	746	△292
投資活動によるキャッシュ・フロー	667	609	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416	△468	△51
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	170	+214
現金及び現金同等物の増減額	1,247	1,058	△188
現金及び現金同等物の期首残高	9,935	10,337	+402
現金及び現金同等物の期末残高	11,182	11,396	+213

前期比主な増減要因

項目	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	売上債権の増加等によりマイナス
投資活動によるキャッシュ・フロー	無形固定資産の取得による支出の増加等によりマイナス
財務活動によるキャッシュ・フロー	配当金の支払額の増加によりマイナス

[連結] 四半期売上高の推移

前期比

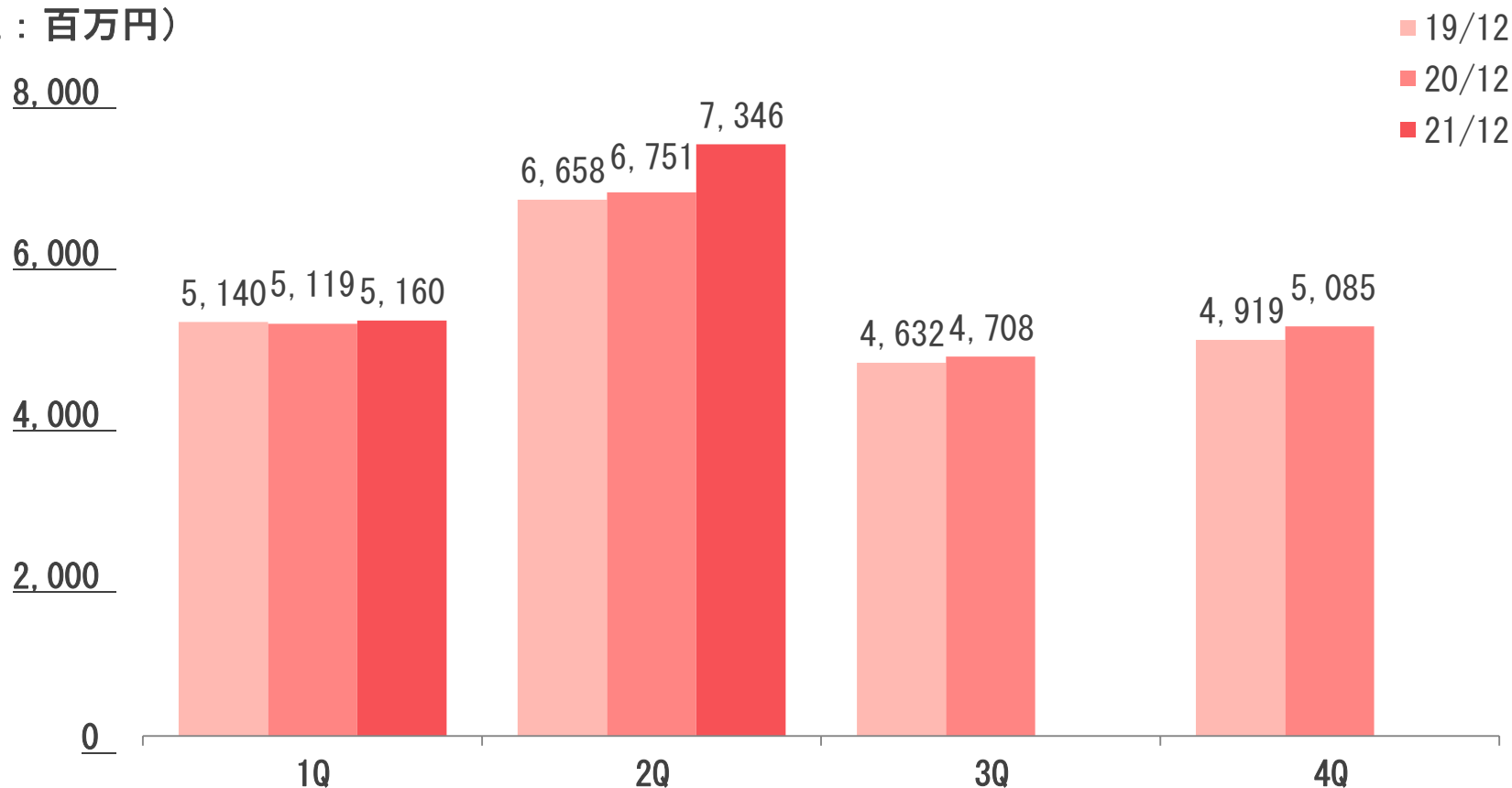
+11.4%	-0.4%	+0.8%
--------	-------	-------

+8.5%	+1.4%	+8.8
-------	-------	------

+6.5%	+1.6%
-------	-------

+6.5%	+3.4%
-------	-------

(単位：百万円)



[連結] セグメント別損益の概況

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計		21/12 2Q累計		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高 合計	11,871	100.0%	12,507	100.0%	+635	+5.4%
CAE	9,714	81.8%	10,346	82.7%	+632	+6.5%
IT	2,157	18.2%	2,160	17.3%	+3	+0.2%
調整額	—	—	—	—	—	—
セグメント利益 合計	2,031	—	2,238	—	+207	+10.2%
CAE	2,517	—	2,669	—	+151	+6.0%
IT	193	—	333	—	+139	+72.2%
調整額	△680	—	△764	—	△83	—

注) 2021年12月期第1四半期よりセグメントの区分を変更しており、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載しております。

セグメント別損益のポイント

セグメント	ポイント
CAE	アジアの売上高が好調に推移したこと等により増収。売上高の増加により増益
IT	クラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により前期並み。その他分野の販売が好調に推移したこと等により増益

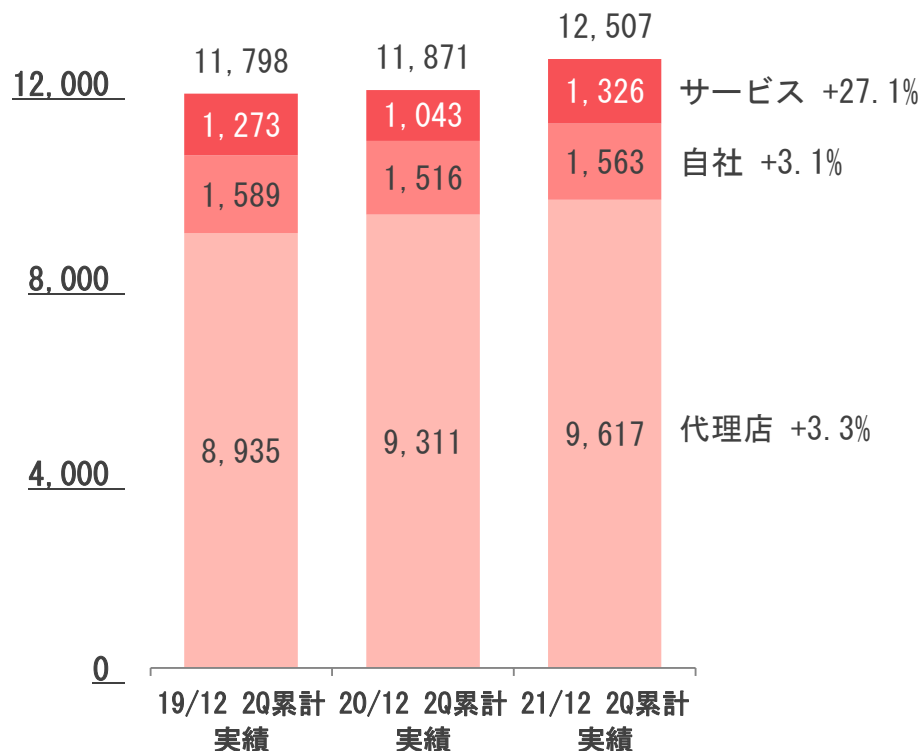
注) CAE：CAEソリューションサービス事業 IT：ITソリューションサービス事業

[連結] 売上高の各構成推移

形態別売上高推移

(単位：百万円)

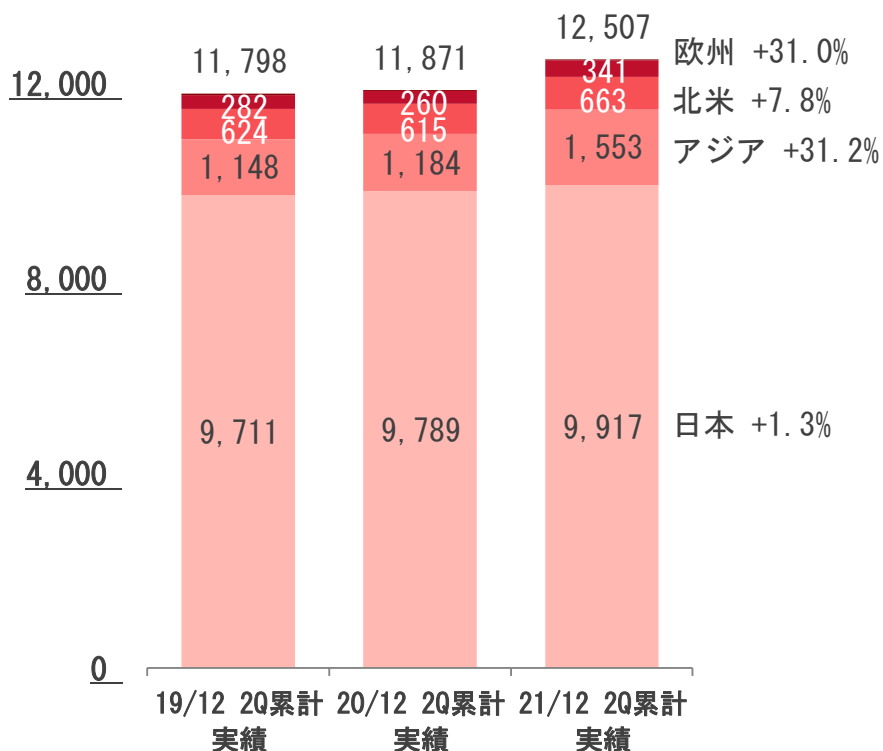
(前同比)



地域別売上高推移

(単位：百万円)

(前同比)



注) 形態別売上高の分類は以下のとおりです。

- 代理店：CAE及びITの代理店ビジネス
- 自社：CAE及びITの自社開発製品
- サービス：CAE及びITのサービス提供

[連結] 形態別売上高

<第2四半期>

(単位：百万円)

	20/12 2Q		21/12 2Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
代理店	5,585	82.7%	6,064	82.6%	+478	+8.6%
自社	730	10.8%	757	10.3%	+27	+3.7%
サービス	435	6.5%	524	7.1%	+88	+20.4%
合計	6,751	100.0%	7,346	100.0%	+594	+8.8%

[連結] 形態別売上高

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計		21/12 2Q累計		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
代理店	9,311	78.4%	9,617	76.9%	+306	+3.3%
自社	1,516	12.8%	1,563	12.5%	+46	+3.1%
サービス	1,043	8.8%	1,326	10.6%	+282	+27.1%
合計	11,871	100.0%	12,507	100.0%	+635	+5.4%

[連結] 地域別売上高

<第2四半期>

(単位：百万円)

	20/12 2Q		21/12 2Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
日本	5,714	84.6%	6,058	82.5%	+343	+6.0%
アジア	596	8.8%	745	10.1%	+149	+25.1%
北米	321	4.8%	365	5.0%	+43	+13.6%
欧州	108	1.6%	164	2.2%	+55	+51.1%
その他	10	0.2%	12	0.2%	+2	+20.9%
合計	6,751	100.0%	7,346	100.0%	+594	+8.8%

[連結] 地域別売上高

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計		21/12 2Q累計		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
日本	9,789	82.5%	9,917	79.3%	+127	+1.3%
アジア	1,184	10.0%	1,553	12.4%	+369	+31.2%
北米	615	5.2%	663	5.3%	+48	+7.8%
欧州	260	2.2%	341	2.7%	+80	+31.0%
その他	20	0.2%	31	0.2%	+10	+48.1%
合計	11,871	100.0%	12,507	100.0%	+635	+5.4%

(参考) [個別] 業種別売上高

<第2四半期>

(単位：百万円)

	20/12 2Q		21/12 2Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
電気機器	2,004	35.3%	1,978	32.9%	△25	-1.3%
機械・精密機器	1,002	17.7%	1,165	19.4%	+163	+16.3%
輸送用機器	537	9.5%	526	8.8%	△10	-1.9%
その他製造業	623	11.0%	727	12.1%	+103	+16.6%
教育・官公庁	498	8.8%	498	8.3%	0	+0.0%
情報・通信	318	5.6%	333	5.5%	+15	+4.7%
その他	693	12.2%	789	13.1%	+95	+13.8%
合計	5,678	100.0%	6,019	100.0%	+341	+6.0%

(参考) [個別] 業種別売上高

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計		21/12 2Q累計		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
電気機器	2,804	28.8%	2,730	27.8%	△73	-2.6%
機械・精密機器	1,718	17.7%	1,899	19.3%	+180	+10.5%
輸送用機器	1,043	10.7%	1,084	11.0%	+40	+3.9%
その他製造業	1,374	14.1%	1,356	13.8%	△18	-1.3%
教育・官公庁	773	7.9%	759	7.7%	△14	-1.8%
情報・通信	555	5.7%	610	6.2%	+54	+9.8%
その他	1,465	15.0%	1,390	14.1%	△74	-5.1%
合計	9,735	100.0%	9,830	100.0%	+95	+1.0%

(参考) [個別] 契約形態別売上高

<第2四半期>

(単位：百万円)

	20/12 2Q		21/12 2Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
ライセンス形態	5,367	100.0%	5,612	100.0%	+245	+4.6%
新規契約	1,418	26.4%	1,434	25.6%	+16	+1.1%
更新契約	3,948	73.6%	4,178	74.4%	+229	+5.8%
ライセンス形態以外	310		406		+95	+30.9%
合計	5,678		6,019		+341	+6.0%

(参考) [個別] 契約形態別売上高

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	20/12 2Q累計		21/12 2Q累計		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
ライセンス形態	8,945	100.0%	8,747	100.0%	△198	-2.2%
新規契約	2,702	30.2%	2,439	27.9%	△262	-9.7%
更新契約	6,243	69.8%	6,307	72.1%	+64	+1.0%
ライセンス形態以外	789		1,082		+293	+37.2%
合計	9,735		9,830		+95	+1.0%

コロナ禍での第2四半期の主な取り組み

第2四半期では合計99回のオンラインイベント、オンラインセミナーを開催（参加者は延べ5,820名（前年同期の開催回数は55回、参加者は延べ2,331名））し、顧客との接点増加、リード増加に努めております。

【個別】 主なオンラインイベント、オンラインセミナー

セグメント	イベント/セミナー	イベント名/セミナー名
CAE	セミナー（当社主催）	AnsysユーザーのためのAI活用のアイデア
	セミナー（当社主催）	CYBERNET 製造業向けDX活用フォーラム
	セミナー（当社主催）	“CAE業務のクラウド化”を成功に導く勘所解説セミナー
	セミナー	製造業IoTカンファレンス2021
	セミナー	ヘルスケア業界で広がるDX推進！最先端デジタル技術のご紹介
IT	セミナー（当社主催）	CASBって何？クラウドセキュリティ入門セミナー
	セミナー（当社主催）	売れ筋「IT資産管理ツール」比較セミナー
	セミナー（当社主催）	VPN機器不要のクラウド型リモートアクセスとは
	セミナー	ITmedia Security Week 2021 夏

新型コロナウイルス感染症に関する当社の主な取り組み

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、お客様、関係者の皆様、従業員及びその家族の安全確保、感染防止に取り組むとともに、“ウイルスとの共存 = 「ウィズコロナ」の時代”を認識し、社会のお役に立てるよう、社員一丸となりサービスをお届けしてまいります。

当社の主な取り組み

お客様 関係者様 向け

- 当社主催セミナーのオンラインへの変更
- オンラインイベントの積極的な参加、当社主催オンラインセミナーの充実
- オンラインによる面談の推奨

社内向け

- マスク着用/手洗い/アルコール消毒利用の徹底
- フレックスタイム制度を活用した時差勤務の推奨
- オフィス勤務と在宅勤務（テレワーク）の最適な組み合わせによる業務の実施
- 対人との距離を確保するレイアウトや座席配置の工夫
- 新型コロナワクチンの職域接種の実施

2021年12月期 業績予想

CYBERNET

[連結] 2021年12月期 業績予想

主要取引先であるSynopsys社との販売代理店契約を2021年10月1日を以って終了することとなったことにもない、業績予想を期初計画から修正しております。売上高は、前期比+1.8%の22,056百万円。営業利益は、前期比-14.1%の2,472百万円を予想しております。

(単位：百万円)

	20/12 実績	21/12E 予想	前同差	前同比
売上高	21,665	22,056	+390	+1.8%
営業利益	2,877	2,472	△405	-14.1%
営業利益率	13.3%	11.2%	△2.1pt	
経常利益	2,840	2,462	△378	-13.3%
経常利益率	13.1%	11.2%	△1.9pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561	1,536	△25	-1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	7.2%	7.0%	△0.2pt	

[連結] 2021年12月期 配当予想

業績予想を修正したことに伴い、配当予想を期初計画から修正しております。1株当たり24.64円の配当を予定しております。

(単位：円)

	17/12	18/12	19/12	20/12	21/12E		
	合計 実績	合計 実績	合計 実績	合計 実績	中間 実績	期末 予想	合計 予想
1株当たり配当額	15.05	16.52	20.19	25.05	12.32	12.32	24.64
1株当たり当期純利益	30.09	△21.07	40.38	50.09	45.73	—	49.27
配当性向	50.0%	—	50.0%	50.0%	—	—	50.0%
(参考) 純資産配当率	3.4%	3.8%	4.8%	5.6%	—	—	5.3%

利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する配当政策を最重要課題とし、安定的かつ継続的な配当を行いながら、産業界の急激な変化・発展に対応した収益基盤の強化・拡充と、積極的な事業展開に備えるための内部留保に努めることを利益配分の基本としております。

中期経営計画の取り組み

CYBERNET

中期経営計画における成長の骨子

下記4項目を中期経営計画における成長の骨子として設定し取り組んでおります。

成長の骨子

	項目	概要
CAE ソリューション サービス	1. コアビジネスの 拡大	a. コア技術強化、製品の拡充ならび最先端分野を支援 b. 製造業の中心を担うアジアでの事業拡大 c. グローバルでの自社製品の販売拡大
	2. DX事業の拡大	デジタルツイン、AI、AR/VRとシミュレーションを組合 せたDXソリューションを展開
	3. シミュレーション 活用領域の拡大	様々な業界の課題をシミュレーションで解決
IT ソリューション サービス	4. クラウド・ セキュリティ 事業強化	クラウド製品を拡充、ニューノーマルに適したセキュ リティ・ソリューションを展開

1. コアビジネスの拡大

トップベンダーとの 関係・連携の強化

機械系CAEシェアNo. 1
Ansys社より
7年連続でエリート
チャネルパートナーに認定



注) Synopsys社との販売代理店契約の
終了について

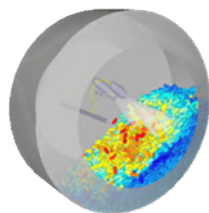
Synopsys社との日本、中国、台湾、韓国、
アセアンにおける販売代理店契約を、
2021年10月1日を以って終了すること
になりました。

製品の拡充・ 新製品の早期立ち上げ

AR開発プラットフォーム
「Vuforia」
2021年4月販売開始



粉体挙動解析
「Ansys Rocky」
2021年5月販売開始



グローバルでの 自社製品の販売拡大

Mapleのオンライン環境
「MapleLearn™」
2021年1月英語版販売開始

ホワイトボードスタイルで
エンジニアの設計計算を
可能とする数学ツール
「Maple Flow™」

2021年3月英語版販売開始
2021年5月日本語版販売開始



2. DX事業の拡大

材料に関するソリューションの提供

- 主な取り組み
 - 材料情報を管理共有できる材料情報管理プラットフォームの販売
 - (株)キグチテクニクスと業務提携。高品質な材料物性データを作成、活用し、高精度のシミュレーションを実現するサービスを開始
- お客様における効果
 - 軽量化/耐久性、脱炭素を推進する製品開発の実現

VRによる可視化技術

- 主な取り組み
 - 本田技研工業(株)と共同で特許申請中の新技術「仮想現実・複合現実感を用いて解析結果を可視化する方法」を、VRシステムのオプション機能として販売開始
- お客様における効果
 - 設計者がCAE解析結果を視覚的に深く理解できることで、手戻りの削減による開発期間短縮と、製品品質の向上を実現

クラウドプラットフォームの提供の拡大

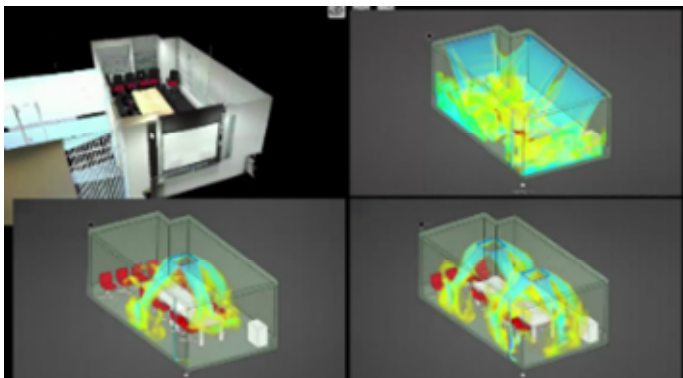
- 主な取り組み
 - 安全かつ高性能なクラウドCAE環境の提供を推進
 - 従量制CAEライセンスと組み合わせて提供
- お客様における効果
 - コンピューター環境に関する高額投資が無く、CAE環境の構築ができ、かつ、使いやすく、セキュリティが確保された環境実現により、研究開発の効率化を実現

3. シミュレーション活用領域の拡大

点群データによる換気性能評価 ソリューション

■ ソリューション概要

- CADデータなどが存在しない病棟やクリーンルームなどにおいて、3Dスキャンにより計測した点群データからCADモデルを構築、空調設備の配置等に関する換気性能のシミュレーションを実現

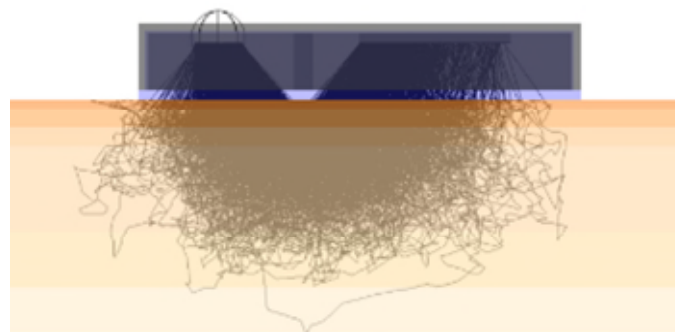


点群データを活用したモデル化と
換気性能シミュレーション

光学式心拍センサー向け ソリューション

■ ソリューション概要

- 光学式心拍センサーの設計において、皮膚組織を通過した光が受光部への到達状況をシミュレーションし、試作の費用と時間の削減を実現



皮膚組織を通過した光線のシミュレーション

4. クラウド・セキュリティ事業強化

クラウド製品の拡充、ニューノーマルに適した
セキュリティ・ソリューションの展開

在宅勤務等の新しい働き方が定着したことにより、
クラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が伸長

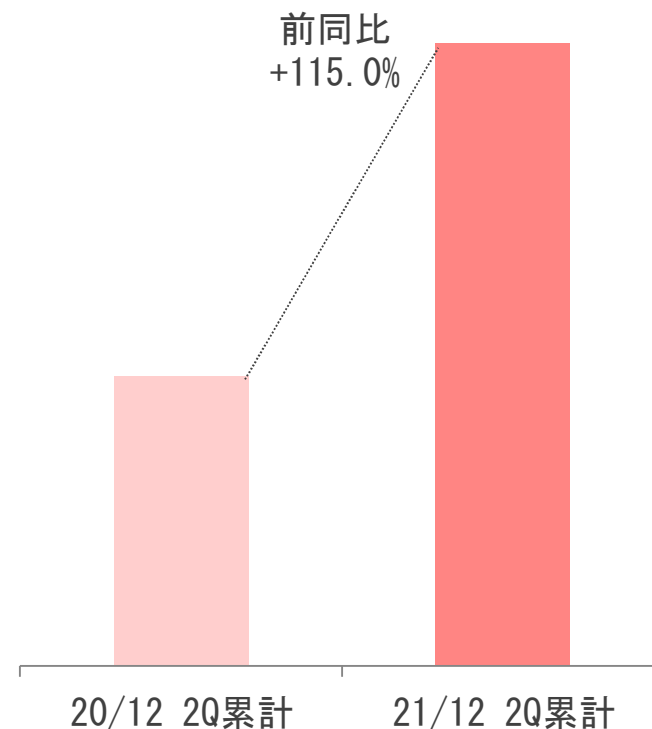
onelogin

新規取扱いクラウド製品の立ち上げによる売上高の
拡大

box

mobileiron

クラウド・セキュリティ事業 売上高推移



参考資料

CYBERNET

会社概要

名 称	サイバネットシステム株式会社 (東証一部 4312) Cybernet Systems Co., Ltd.
本 社	東京都千代田区神田練塀町3番地 富士ソフトビル
拠 点	西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
設 立	1985年4月17日
資 本 金	995百万円
代 表 者	代表取締役 安江 令子
社 員 数	622名(連結)、371名(単体)(2020年12月31日現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> CAEソリューション、ITソリューション、AR/VR・可視化ソリューション、ビッグデータソリューション分野の科学技術計算ソフトウェアの販売・開発 IoT/デジタルツイン/AI構築支援サービス 各種エンジニアリングサービス
開発元提携先	Ansys社、Synopsys社、Broadcom社など米国中心に30社以上 注)Synopsys社との販売代理店契約の終了について
連結子会社	【国内子会社】 <ul style="list-style-type: none"> サイバネットMBS E株式会社 【開発子会社】 <ul style="list-style-type: none"> Sigmatrrix, LLC (米国) Maplesoft (カナダ) Noesis Solutions NV (ベルギー) 【販売子会社】 <ul style="list-style-type: none"> 莎益博工程系統開発(上海)有限公司 (中国) 思渤科技股份有限公司 (台湾) CYFEM Inc. (韓国) CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア) Synopsys社との日本、中国、台湾、韓国、アセアンにおける販売代理店契約を、2021年10月1日を以って終了することになりました。

沿革

-
-
-
-
-
-
-
-

● 1967 CDCがCDC東京支店設立

1970

● 1971日本CDC設立



1980

● 1980 CYBERNETサービス開始

-
-
-
-
-
-
-
-

● 1985 日本CDCからCYBERNET事業を引き継ぎサイバネットシステム（株）設立

● 1988 神戸製鉄所、発行済全株式取得

1990

● 1999 富士ソフト、発行済全株式取得

2000

-
-
-
-
-
-
-
-

● 2001 JASDAQ上場

● 2003 東証二部上場

● 2004 東証一部上場
中華人民共和国 上海市に現地法人設立

● 2008 台湾新竹市に現地法人設立

● 2009 米国Sigmatix社の全株取得
カナダMaplesoft社の全株取得

2010

● 2010 ベルギーNoels Solutions NV社の全株取得

● 2017 大韓民国ソウル特別区に現地法人設立

● 2018 マレーシアに現地法人設立

2020

● 2020 サイバネットMBSE（株）設立

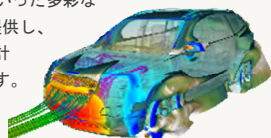
サイバネットが提供するソリューション

CAEソリューションサービス

CAEソリューション

CAEの活用をトータルにサポート

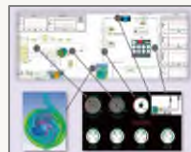
CAEの適用範囲は、自動車や航空機、電気製品といった業界に留まらず、医療やスポーツ、食品、エネルギーの分野まで拡大を続けています。機械系CAE（構造物の応力、熱、振動、騒音、流体などの解析）、制御系CAE（自動車や電子機器の制御装置等の開発）、光学系CAE・測定システム（センサー、生体、レーザ、車載機器などの開発）、電気系CAE（アンテナ、EMI）、システム系CAE（1D、MBD）といった多彩なCAEソリューションを提供し、複雑化・高度化する設計課題の解決を支援します。



AI・IoT・デジタルツインソリューション

様々なデータから知見を導き出すデジタルソリューションを構築

IoTやAIといった技術革新の波により、様々な情報や機器がつながるようになってきました。サイバネットは、IoT技術を活用したデータの自動収集～可視化・分析の仕組み構築をはじめAIモデルの適用やCAEと組み合わせた革新的なデジタルツインシステムの運用まで、ワンストップで提供します。デジタル技術を用いたものづくりプロセス改革、さらにはモノからサービスへの転換まで、お客様の市場競争力の強化を支援します。



MBD/MBSEソリューション

開発プロセスの改善を支援

MBD：長年積み上げてきた高度なモデリング技術を用い、お客様のコア業務からノンコア業務まで、モデルベース開発の一連のプロセスを支援します。

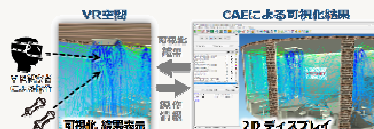
MBSE：自社開発のツール群・コンサルティング・エンジニアリングサービスを組み合わせ、業務プロセス、技術や機能の整理を行い、効果につながるMBSEの現場展開を支援します。



AR/VR・可視化ソリューション

先進的な可視化技術で、直感的な「わかる」を促進

AR、VR、更にMR（複合現実）といった可視化技術を利用し、設計プロセスの改革や作業現場での教育/技術継承を支援します。また、実験やCAE、IoT機器から得られる数値データを直感的に理解しやすい可視化画像に変換したり、各種画像解析を行ったりするソフトウェアやエンジニアリングサービスも提供します。様々な先進的技術で「人と人」「人とデータ」をつなぎます。



ITソリューションサービス

ITセキュリティソリューション

複雑化・クラウド化するIT環境のセキュリティを強化

クラウド活用やテレワークが広がったことで、企業システムの利用形態は大きく変化し、セキュリティの重要性もさらに高まっています。今注目のゼロトラストセキュリティ実現を支援すべく、サイバー攻撃から情報資産を守る「エンドポイントセキュリティ」や「クラウドセキュリティ」などのITセキュリティソリューション、そしてIT資産管理をワンストップで提案できる「IT資産管理の窓口」や「ITインフラストラクチャ」などのソリューション群ならびにコンサルティングなどの製品/技術サービスを提供しています。複雑化する企業のセキュリティレベルやIT資産の管理環境を向上し、経営判断の迅速化を支援します。



医用画像診断支援ソリューション

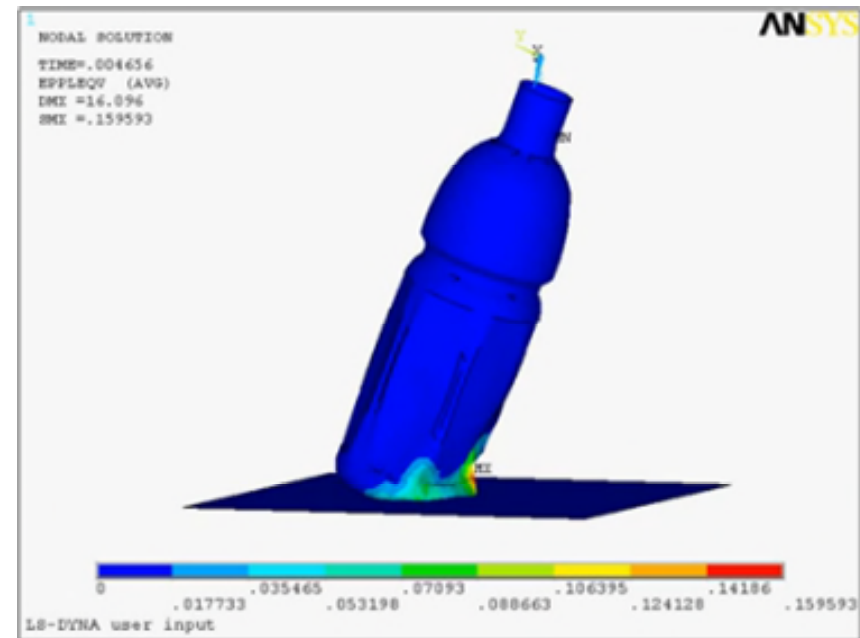
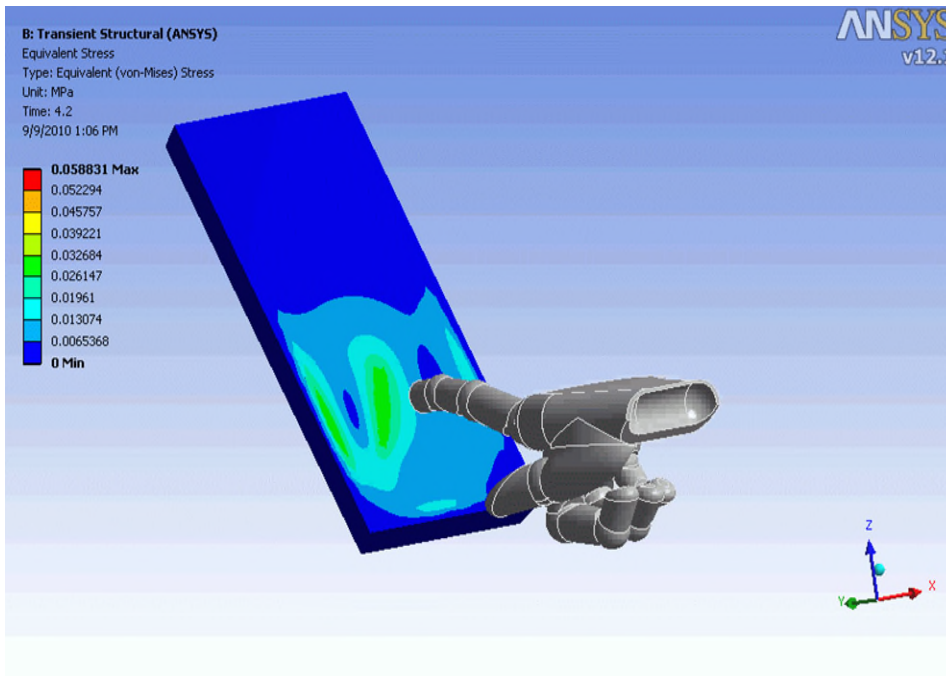
医用画像情報の利活用により医師の診断を支援

医療分野で用いられる画像情報は、画像診断対象機器の急激な成長とともに利活用が進んでいます。サイバネットは、大腸内視鏡による診断時の病変検出から病理診断予測までを、AIを用いて包括的に支援するソフトウェアを提供しています。また、長年の医療画像活用のノウハウを生かし、消化器科/呼吸器科/歯科等様々な分野における医師の診断を支援し、医療従事者や患者の皆様の負担軽減に貢献します。



CAEとは？

「Computer Aided Engineering」の略
直訳すると「コンピュータによる工学支援」



コンピュータ上でデザインされたモデル (CAD*) を仮想実験することで、開発中の製品の性能や信頼を予測するツールです。

*Computer Aided Design

■ IR室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3 番地
T E L	03-5297-3066
F A X	03-5297-3609
E - M A I L	irquery@cybernet. co. jp
W e b サイト	https://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。